

平成28年度 第2回久留米市環境審議会議事録

1. 日 時 平成28年10月4日 火曜日 14時00分開会 16時00分閉会
2. 場 所 市役所本庁舎305会議室
3. 出席者

	会長	藤田 八暉	久留米大学 名誉教授
	副会長	井手 信	聖マリア学院大学 学院長
	委員	池尻 登	久留米市地区環境衛生連合会 会長
		最所 美博	久留米商工会議所 環境エネルギー委員会 委員長
		下濱 正承	福岡県北筑後保健福祉環境事務所 環境長
		高橋 和子	くるめクリーンパートナー 代表
		池鯉鮒 悟	久留米工業大学 教授
		富岡 誠司	国土交通省 九州地方整備局 筑後川河川事務所 所長
		永松 千枝	久留米市女性の会連絡協議会 副会長
		藤田 眞知子	久留米医師会 会員
		山田 佳名子	久留米市農業協同組合
		吉永 美佐子	高齢者快適生活づくり研究会 代表
	事務局	今田 利満	環境部部長
		平田 茂	環境部次長
		熊本 浩二	環境部施設運営担当次長
		江頭 宣昭	環境部環境政策課長
		谷川 克幸	環境部環境保全課長
		近藤 祖	環境部資源循環推進課長
		田中 正行	環境部建設課長
		井手 和芳	久留米市校区まちづくり連絡協議会 幹事
		園田 茂	久留米三井薬剤師会 常務理事
		中畷 裕之	久留米工業高等専門学校 生物応用化学科 教授
		濱崎 裕子	久留米大学 文学部 社会福祉学科 教授
		藤田 直子	九州大学大学院芸術工学研究院 准教授
4. 欠席委員

	井手 和芳	久留米市校区まちづくり連絡協議会 幹事
	園田 茂	久留米三井薬剤師会 常務理事
	中畷 裕之	久留米工業高等専門学校 生物応用化学科 教授
	濱崎 裕子	久留米大学 文学部 社会福祉学科 教授
	藤田 直子	九州大学大学院芸術工学研究院 准教授
5. 次 第
 - 1 開会
 - 2 議事
 - (1) 久留米市の平成25（2013）年度温室効果ガス総排出量について
 - (2) 久留米市役所エコアクションプランの取り組みについて
 - (3) 久留米市環境基本計画に基づく行動計画の実績報告について
 - (4) くるめ生きものプラン（仮称）案について
 - (5) その他
 - 3 閉会
6. 提出資料等 別紙のとおり
7. 会議内容 別紙のとおり

開会

会長挨拶

藤田会長 それでは只今より、平成28年度第2回久留米市環境審議会を開会させていただきます。本日の議題も重要な議題が並んでおりますので、円滑な進行のために委員の皆様方にもご協力をよろしくお願い申し上げます。それでは事務局から本日の資料の確認をお願いします。

(事務局による資料確認)

藤田会長 お手元の資料のほうはよろしゅうございますか。それでは前回議事録の確認に移らせていただきます。お手元に今年度第1回久留米市環境審議会の議事録を配布いたしております。ご確認をお願いしたいと思いますけれども、後ほどご発言の部分につきましてコメントがございましたら事務局のほうにお寄せいただければと思います。それで私のほうで最終確認をいたしまして、久留米市のホームページに掲載する形で公表をさせていただきます。よろしくお願いたします。時間の関係で議事録の確認はそういう形で取り進めさせていただきます。

議題1 久留米市の平成25（2013）年度温室効果ガス総排出量について

藤田会長 では、議事に入らせていただきます。議題1は「久留米市の平成25（2013）年度温室効果ガス総排出量について」です。事務局から説明をお願いします。

事務局（江頭環境政策課長）説明

藤田会長 只今、久留米市の平成25（2013）年度温室効果ガス総排出量につきまして事務局から説明がございましたけれども、これにつきましてご質問等ございましたらお願いいたします。

2013年度の温室効果ガス総排出量は、久留米市だけではなくて全国的に増加しており、これまでの総排出量からいきますと2番目に高かった年でありまして、そういったことも久留米市のデータから出ているというところであろうかと思えます。これにつきましてよろしゅうございますか。もし何かありましたら後ほどお願いいたします。では続きまして、議題2の「久留米市役所エコアクションプランの取り組みについて」に移らせていただきます。

議題2 久留米市役所エコアクションプランの取り組みについて

事務局（江頭環境政策課長）説明

藤田会長 只今、事務局のほうから「久留米市役所エコアクションプランの取り組み」につきまして説明がございました。これにつきましては今説明がございましたように、地球温暖化対策推進法に基づき策定が事務付けられている実行計画につきまして、久留米市は市の事務事業に伴い使用するエネルギーや、発

生する温室効果ガスの抑制を目的とした「久留米市役所エコアクションプラン」を平成24年8月に策定し、取り組んでいるということでもあります。27年度の状況については今説明があったようなことではありますが、これにつきましてご質問等をお願いいたします。

藤田委員 LEDに転化率ってどれぐらいですか。

事務局 率というのは出ていないですが。

藤田委員 ここは、LEDではないのですか。

事務局 市役所3階以上はすべてLEDです。市民の皆さんがお出でいただくところは早くやろうということで、早い時期にまだLEDが安くない時に、CCFLだったと思うのですが、従来の蛍光管であります。極めて効率の高いものに先に変えてしまっていましたので、次の機会にそこをLED化することになります。市の他の施設で学校の廊下やトイレなど一部ずつしているところはありますが、全体の率というところでは出し切れていません。なかなか全部一斉にということができないので。

藤田委員 うちも最初に市の援助でLEDを一部入れさせてもらって、今年また頻繁に使うところをLEDと入れ替えています。主婦の視点でいうと、こういう部屋はもったいないなと思って3ヶ所に2ヶ所ぐらい抜いて仕事をさせていただいています。かなり間引いています。

事務局 私どもも間引くように言っていて、前よりは間引いてはいるのですが、市民の皆さんが来られるとなかなか。後でまた担当部署に言っておきます。

藤田委員 主婦にやらせるとかなりケチると思いますけど。

藤田会長 LED電球に置き換えるというのは非常に温暖化対策としても重要なものがあります。それから水俣水銀条約の関係で、蛍光管には水銀が使われていますので使えなくなります。そういった意味からも早くLED化をしていかないといけないということになります。その他いかがでしょうか。

高橋委員 コピー用紙の使用の削減についてですが、今、町内会長をさせていただいているので広報くめを配っていたら、うちには入れないでくださいとアパートの貼り紙をしているところが何軒かありますし、すぐにごみ捨てポイという方が何人かいらっしゃいます。私の範囲だけでも5~6軒はいらっしゃる。だから他の町内ではどうなっているかなと思います。それを何らかの方法で、いらないという方にはやらないようにすると大分削減できると思いますが、どうでしょうか。

事務局 そうですね。実際にそれができれば削減できると思いますが、なかなか人口が30万の皆さんにそれぞれ希望をお伺いして、1軒1軒マーキングしてここは配る、ここは配らないというのはなかなか厳しいような気がいたします。

高橋委員 リサイクルとかに出されたら少しはいいと思うのですが、生ごみにポイといわれる方も現にいらっしゃいます。

事務局 それは指導していただいて。

高橋委員 はい、指導しておきます。どうにかしてこれを考えられないかなといつも思っています。

事務局 ホームページにアップしていますからパソコンでも見られるのですが、やはりご高齢の方はそれだけではいけないので、なかなか全世帯いる・いないというのは、もしかしたら町レベルではできるかもしれませんが、ちょっと厳しいかなと思います。

高橋委員 なんとか考えられないかなと思います。町内のほうだけでしていきます。そして、小森野ではこうやっているらしいよと聞いたら、他のところでもしてください。

藤田会長 委員の中に久留米市校区まちづくり連絡協議会の方が入っておられるのですが、今日はご欠席ということなので今あったご意見等もお伝えできればと思います。その他いかがでしょうか。

池尻委員 先ほど言われたLEDの街灯の件ですが、あれは活発なところは30灯あるところに20何灯かしているのですが、していないところは自治会長さんのやる気がないということで、あまりしていないところがあります。それで年間で3灯と聞いたものですから、そういう補助等はどうなるのでしょうか。

事務局 防犯灯については100%市が補助でやっております、平成32年度までに100%LED化することではやっておりますが、予算の関係がありまして、多分順番でやっていると思います。だから会長さんのやる気もあるかもしれませんが、皆さんご希望されてもいっぺんにはできないので、毎年10%ずつ、後で説明するところもありますが、順番がまだなのではないかと思います。

池尻委員 他にしないところがあつて、その代わりと言って、ある1ヶ所がどんどんしています。そうすると防犯に対しても違いますから、暗くしていると事件等いろいろあると思っただうなっているのかなと。

藤田会長 担当課長から。

佐藤安全安心推進課長 安全安心推進課の佐藤でございます。防犯灯の所管をしております、今言っていたように街路灯につきましては、LED化を進めていくということで、後ほど資料の中にも進捗率を挙げさせていただいております。市といたしましては改修の費用を補助させていただくということで、今言っていたように年間3灯しているところもありますが、基数が1万8,000灯ほどございますので、なかなかいっぺんに予算的に対応するのが難しいので、10年間でやろうという計画で1割ルールというものを作らせていただいております。管理している自治会の上限1割をやっていきながら10年間で全体をLED化に替えようということです。その中で30灯に満たないところは効率的なこともありますので、そこは3灯までオッケーですということですので、数が少ないところはLED化が進んでいるようなところもあるようです。合わ

せて自治会によりましては、蛍光灯からLEDに替わりまして見直す時に新設するところもあるようでございます。防犯関係にも明るさは非常に有効でございますので、この制度は今後も続けさせていただきたいというように考えています。

藤田会長 今の説明の平成32年度までに市内の全防犯灯のLED化をめざすということについて、できるだけ早く進められたら尚良いということですね。その他よろしゅうございますか。それでは議題2の「久留米市役所エコアクションプランの取り組みについて」は以上とさせていただきます、次の議題3に移らせていただきます。

議題3 久留米市環境基本計画に基づく行動計画の実績報告について

藤田会長 それでは議題3の久留米市環境基本計画に基づく行動計画の平成27年度実績報告につきまして事務局から説明をお願いします。

事務局（江頭環境政策課長）説明

藤田会長 平成27年度久留米市地球温暖化対策実行計画重点事業の取組状況の資料のほうは特によろしいでしょうか。

事務局 割愛させていただきます。

藤田会長 では只今、久留米市環境基本計画に基づきます行動計画について平成27年度の実績の報告がありましたけれども、これにつきまして質問・ご意見等ございましたらお願いいたします。どうぞ、藤田委員。

藤田委員 今期から分別のリサイクルは透明のビニール袋に分別して出すようになっていますが、実施率はどうでしょうか。

事務局 実施率はなかなか難しいのですが、燃やせるごみ袋の組成分析を抜き打ち的にいくつかサンプルを用意してやっていますが、なかなか入っています。

藤田委員 出ているのがうちの町内だと私だけです。透明のものにたくさん入れて出している人はいないので、皆わかっているのかわかっていないのか、まだ十分に浸透できていないのかなと思って。

藤田会長 はい、では担当課。

中野資源循環推進課長補佐

資源循環推進課の中野と申します。容器包装プラスチックを4月から分別収集させていただいているのですが、それがどのくらい出ているのかというご質問でよろしいでしょうか。

4月については出方が少なかったのですが、月を追うごとに増えています。実績で言いますと4月が収集量として1万1,000kgほど出ていたのですが、直近の7月が約2万kgという形で倍増してきています。浸透はしてきていると思うのですが、まだまだ完全だと我々は思っていないので、今後の説明会

や学習会を使って、周知に努めていきたいと思っております。

池尻委員 今の件で白い袋なら何でもいいと聞いていますが。

藤田委員 透明ね。

池尻委員 そうそう透明。それで燃やせるごみが減りましたね。今まで一緒に出していたので。それともう1つは、出しているところで例えば道路で一緒に出すので風でどんどん飛んでいきます。だからそれ専用の容器を何か用意してくれと言うのですが、なかなか予算の関係でできないと言われました。しかし何か対策を取ってもらわないと。皆さん一生懸命持って来てどんどん積んで、場所がないところは道端にはみ出してしまうと車から苦情が出ています。場所が広いところはいいのですが。

藤田会長 はい、担当課。

中野資源循環推進課長補佐

こういったものが対象の容器包装プラスチックですが、おっしゃるように透明の袋もしくは半透明の袋で出させていただいております。これに関しては、集積所に容器は設置しておりませんが、例えば缶やビンの容器を予備で置いておりますので、使われていない時はその中に入れてください。基本的には透明の袋で出させていただいているので、容器と容器の間に挟んで出させていただくようお願いをしているのですが、風と、先ほど池尻さんがおっしゃられたように、道路の路肩を集積所にされているところもあると思います。そういうところについては、先ほど申し上げたように空きの容器を使っていただく、もしくは自主管理していただけたところ、地域でネットを貸し出して管理をしていただけたところについては、貸し出しの事業もやっておりますので活用していただければと思います。それでも危険だと言われる場合には、その集積所を個別に言っていただいて、ご相談いただくのがいいと思いますのでよろしく願いいたします。

藤田会長 よろしいでしょうか。その他いかがでしょうか。はい、どうぞ池鯉鮒委員。

池鯉鮒委員 目標に対しての実績のところではA評価というものがありますが、A評価というのは8割ぐらいいけばA評価という基準があるのでしょうか。

事務局 定性的になりますね。動きを見ながらいろいろな取り組みをしているので、いけそうだなという原課の感覚でございます。数値的に毎年1,000人ずつ、このままいけばいくなと思うところはそうだろうなとか、少しどうかというところは聞き取りをして状況を聞いた上で決めています。

藤田会長 はい、よろしいでしょうか。その他にございせんか。それではまたありましたら後ほど出させていただくということで、議題3の「久留米市環境基本計画に基づく行動計画の実績報告について」は以上とさせていただきます。

議題4 くるめ生きものプラン（仮称）案について

藤田会長 それでは議題4「くるめ生きものプラン（仮称）案について」に入ります。
これについて事務局から説明をお願いします。

事務局（谷川環境保全課長）説明

藤田会長 ありがとうございます。只今、久留米市生物多様性地域戦略の仮称でくるめ
生きものプラン案につきまして、事務局から説明がございましたように、前
回5月の環境審議会でも地域戦略のコンセプト及び素案について審議をいたし
ましたが、ここで素案についていただいた意見につきましては、生物多様性
地域戦略検討委員会のほうで検討いたしまして、ご意見を取り込んでおりま
す。さらに、その他関係団体また庁内との調整を精力的に事務局のほうでこ
なされまして、この案のところまでできております。これにつきましてお気づ
きのところ、ご質問・ご意見等をいただければと思います。
永松委員は検討委員会の委員で参加されましたけれども、どうでしょうか。

永松委員 よくまとめてあると思います。修正もきちんとなされていますし。

藤田会長 前回の環境審議会に出された素案は、あの時だいたい山登りで言うと5合目
ぐらいまでの案かなと申しましたが、今回の案はだいたい8合目ぐらいまでは
きたかなと思います。

高橋委員 立派なことを書いていらっしゃるのでも全然意見もないです。ミドリムシが鳥
栖のほうでもものすごく多いですが、久留米には全然ないからどんな対策を
してあるのかなと。鳥栖のほうではコンビニの窓に付いているからお兄さん
たちがどんどん流してありますけど。

事務局 回答になっているかわかりませんが、害虫関係が突発的に発生した場合には
私どものほうに相談がございまして、そういった時には市のほうから必要な場
合には消毒をさせていただいております。それから旧久留米地域につきましては、
公共側溝の消毒を夏場と言いますか、5月ぐらいから9月ぐらいにかけて
実施させていただいております。多分これは周辺の自治体では実施していな
くて、久留米市独自の施策かなというところでは。

藤田会長 あと、これは農業の関係でJAとも関係あるとこですけれども、山田委員、
案を見られて何かお気づきのところがありますか。

山田委員 いえ、すばらしいなと思いました。前にも出たのですが、10ページの地域の
名前でEの筑後川中流域の括弧の中は私も読めないなと思ったのですが、こ
れは小学校の高学年の方は読めるのですか。

事務局 最終的にはルビをふる予定にしております。それからなるべくわかりやすく
読みやすいように再度整理はさせていただきたいと思っております。

藤田会長 地名等につきましては地元の方は分かっているけれど、できるだけ親切にで
きればというところでしょうね。
近年は、企業のほうでもCSR活動と絡んで、こういった生物多様性の環境
活動もいろいろ積極的にされている面がありますけれども、最所委員はいか
がでしょうか。

最所委員 そうですね、これの中で個人的に単純に思うのは生物多様性だから絶滅危惧種とか生きものはともかくとして、植物になると全く見当がつきにくいと思って、先ほどから見ているところでした。それと外来種で言うと、先日も新聞に載っていましたが、蜂が韓国のほうから対馬のほうにやってくる宮崎にも来ているとなっていたので、そういう対策とか、また池の中も従来の古来種がだんだん絶滅しているの、近頃の対策は何かあるのでしょうか。

事務局 今お話があったのがツマアカスズメバチのことで、昨年北九州で発見されて本年度になって日南のほうで発見されております。昨年度、環境省等が北九州のほうでかなり調査をされておりますが、発見がされなかったところかと思えます。昨年度は久留米市民の方からも、たまたまテレビでそういったものやっていた関係で、実は2件ほどそうではないかということで通報がありまして、それを私たちも見たことがございませんでしたので、県の保健関係に持って行きましたところ、普通の在来の蜂ということで、まだ今のところは久留米市での確認はされておられません。ただ周知をしていく以外には今のところ手がないのかなというところで、もしもそうだったということであれば、ぜひご連絡をいただければと思います。

藤田会長 井手先生いかがでしょうか。

井手副会長 特にございませませんが、子ども向けの1ページ目の“生きものが姿を消しているよ...”というところに“恐竜が絶滅した時代の数を大幅に上回ります。”と書いてあるのがショックでした。最近NHKで恐竜の番組がありましたけど、ああいうのを見ていてあの時代以上に絶滅の速度が速いというのが驚きでした。立派な資料をつくっていただいております。

藤田会長 それではまた何かお気づきのところがあればお願いするとして、一応基本的にはこの案で事務局のほうで再整理をしていただき、パブリックコメントをするということで進めればと思います。今後の段取りにつきましては、先ほど環境保全課長から説明がありましたけれども、パブリックコメントについては11月ということですが、具体的にはだいたい何日からということでしょうか。

事務局 先ほど少しお話が出ていましたが、広報くるめの11月1日号にパブコメのご案内をしまして、11月8日から12月7日までの期間を予定しております。

藤田会長 パブコメの結果等も踏まえて、生物多様性地域戦略検討委員会の検討が行われ、最終的な案が作成されることになりますので、次回の環境審議会の開催は2月上旬になるかと思いますが、その時に最終的なものを確認いただくということで進めていければと思っております。では議題4の「くるめ生きものプラン（仮称）案について」は以上とさせていただきます。

議題5 その他

藤田会長 では議題5の「その他」に移らせていただきたいと思います。「その他」の1番目は「平成28年度一般廃棄物（ごみ）処理実施計画について」担当部署から説明をお願いします。

事務局（近藤資源循環推進課長）説明

- 藤田会長 ありがとうございます。只今、「平成28年度一般廃棄物（ごみ）処理実施計画について」説明がありましたが、これにつきましてご質問等をいただければと思います。
- 高橋委員 リサイクルでうちの従業員が3,000円で自転車を買ってきたよ、嬉しいと言って喜んでいたのですが、タイヤを換えてブレーキが利かなかったから利くようにしたら1万円かかったと言って、これなら買ったほうがよかったと言っていました。
- 事務局 それは、うちの事業の分ですか。
- 高橋委員 でしょうね、リサイクルから買って来たと言っていたので。
- 事務局 簡単には買えなくて、抽選をして高い倍率の中で当たってからの話になりますから、どこで買われたのかをもう一回聞いてくださいますか。シールが貼ってあればうちのですから。
- 高橋委員 どんなのかは知りませんが、おたくのではないかもしれません。
- 事務局 確認をお願いします。
- 高橋委員 はい、わかりました。
- 藤田会長 その他いかがでしょうか。池尻委員よろしいですか。
- 池尻委員 皆さんで協力してごみを減らす活動で立派なことですよ。近藤課長が言われたように、地域によって大分違うようですね。うちの横は3階建てのマンションがあります。それで、燃やせるごみの時に出してくれるならいいのですが、他の時にもずっと出されます。近所から苦情があるので私が朝行ってみたら燃やせるごみの中に缶やペットボトルを一緒に入れていました。回収業者が持って行っているの、マンションの人はわからずに、また次も出すかもしれません。自治会にも加入していないところが悪いですが、あなたたちは会費を払っていないので出すなどとは言えないから、そういうことがあるのでマンション辺りは特に気をつけて市の方が回るようにきてもらっています。市の方や私のような推進員が回るからいいと思わずに、一般市民の方も少しは協力してもらわないと。同じマンションでもピシッとされているところもありますので、そういうところをよろしくお願いします。
- 事務局 はい。
- 藤田会長 よろしくお願いします。その他ございませんか。
- 最所委員 先日、宮ノ陣クリーンセンターに商工会議所の環境エネルギー委員会で行きまして、非常に勉強になって参考にもなって、リサイクルの宝の市の中を見せてもらいましたが、本当にこんな値段で先ほど抽選があると言われましたが、よく整理もされてこういったことをもっともっと広く周知をしていくと、

そういうものを大事にしていくようになるのかなとすごく思いました。

藤田会長

今ご説明があった中で使用済み小型家電の回収の関係ですが、久留米市は全国でもモデル地区ということで取り組みをいろいろされてきて、説明ですとこれまでの拠点回収の13ヶ所に加えて、月2回の資源物収集日にも回収するようになるということですが、先ほどの話だと小型家電と鍋釜等も一緒にとうご説明でしたので、そのあたりの区別は大丈夫なのでしょうか。

事務局

実は元々福岡県が環境省のモデル事業に参加し、我々にお声が掛かりまして、参加をしたのがきっかけですが、我々としてはできる限りのリサイクルを進めたいということで、ようやくこういった月2回の収集を行っています。それで緑の縦長の容器が元々ございました。資源物の日に市のほうからお届けするものです。これは小金属、小さな金属類だけを集めるものです。ここにさっきの品目を限定したものをに入れていただくということで、新たな経費をかけないという前提で制度をつくっていきました。たまたま久留米市の回収量が多いものですから、つい先月20日と21日に総務省の行政評価局というところから、レアメタルがない国なのでそのリサイクルに取り組もうという方針を国は抱えています。そのためにはどういう方法がいいのかと。それで回収量が多いところをぜひ視察をしたいということで国からお見えになりまして、宮ノ陣にも案内して現場も見させていただいて、久留米市のやり方をしっかりお話させていただいたところでございます。

幸いこのような分別収集に取り組んだこともありますが、回収量は昨年が1年間で150tほどでしたが、その数字をはるかに上回るような勢いで集まっています。これが燃やさずに埋めずに済む、リサイクルに回るということで、非常に毎日出るような代物ではございませんが、こういったものもリサイクルをとことんやるということで、これはしっかりこれからも周知をしていきたいと思えます。

藤田会長

はい、分かりました。その他よろしいでしょうか。それでは「平成28年度の一般資源物（ごみ）処理実施計画について」は以上とさせていただきます。

「その他」の2番目といたしまして、私のほうから国の地球温暖化対策の関係につきましてお話をさせていただこうと思えます。

藤田会長 説明

藤田会長

時間がありましたらご質問等をお受けしたいのですが、時間がございませんので。最後に環境啓発講演会ということで“異常気象と環境問題～どうなる地球温暖化～”ということで配られているチラシがありますが、これについてのご案内はもうよろしいでしょうか。では、行かれる方は入場券を準備されているので、そちらを受け取っていただければと思います。あと委員の皆様から何かございましたらお願いします。事務局のほうは特によろしいですか。

閉会

藤田会長

それではちょうど定刻になりました。これで本日予定の議事は全て終了いたしました。円滑な議事進行にご協力いただきましてありがとうございます。

次回の環境審議会は生物多様性地域戦略の関係もございますので、来年の2月上旬頃に開催をすることになると思いますので、よろしく願いいたします。
では、本日の会議はこれにて閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

以上